

# シニアビリヤード教室 開催までの流れ

---

【KBA】神奈川県ビリヤード協会

2022. 8. 7

# 目次

1. 背景
2. 経緯
3. 何を提供するのか？
4. 目標
5. どのように開催するのか？
6. 開催までの流れ
7. 補足説明
8. 今後の展望

# 1. 背景

公益社団法人日本ビリヤード協会 令和 4 年度事業計画書の抜粋を以下に記載します。

## 1-1. 普及事業

地域密着型の普及活動に、地域別加盟団体による独自の積極的協力を要請するものである。特に人材と場の確保への注力を要請したい。事業基本戦略の設定から地域的活動に必要な経済的支援の在り方まで、中長期計画策定に於いて見直し検討される予定である。短期的には、普及指導委員会の再編と機能点検再整備を理事会主導で進め、その活動による具体的成果を得る方針である。

## 1-2. 生涯スポーツとしての普及活動

高齢化社会に見込まれる需要に対応し得る体制を整備する一環として、加盟団体による人的協力と賛助団体による支援の下、自治体や公共の高齢者施設等からの要請への都度対応を継続する。

## 2. 経緯

- ビリヤード サイドナインにシニアからビリヤードに関する問合せが沢山あり。
- そこで、高齢者のビリヤードに対する需要があるだろうと想定。
- コロナ前やっていた教室の中でシニアは3、4人だったのだがコロナ後には確実にシニアのビリヤードに関する関心が増加している。
- ヒアリングを重ねた結果、シニアの中には、お酒を出すお店でありタバコの煙が充満しているという昔のイメージがある。その結果、ビリヤードに興味を持っていても、ビリヤード場に足を運ぶのを躊躇している。
- ビリヤードは生涯スポーツであり、シニアにとっては適度な運動になる。

### 3. 何を提供するのか？

- ビリヤードを行うことで、シニアの健康の促進を期待できる。
- シニアの方の中には、目標が無くなっている人も少なくない。生涯スポーツとしてビリヤードを始めることでやる活力を与える事が期待できる。
- シニアにとっても、日々の成長や上達しているという意識の向上が必要でありその環境を提供できる。

## 4. 目標

シニアビリヤード教室を開催することで以下の目標を達成したい。

- シニアビリヤード教室を神奈川県下のビリヤード協会の加盟店舗にて普及させていく。
- 毎年、シーズン毎に教室の開催を行い神奈川県下での恒例行事とさせていく。
- シニアにビリヤードに対して理解をもってもらおう。
- シニアに最適なビリヤードを役所にアピールすることで役所と良好な関係を築き今後のイベント活動を取り上げてもらいたい。

## 5. どのように開催するのか？

現時点では、ビリヤード サイドサインにてシニアビリヤード教室を開催しています。

この教室をモデルとして、良かった点、悪かった点、問題点、課題を洗い出します。その後、検証結果を神奈川県ビリヤード協会の理事会にかけて反省や改善を繰り返し、シニアビリヤード教室の実行手順を確立させていただきます。

## 6. 開催までの流れ

以下に、サイドサインにて実施しているシニアビリヤード教室を開催した流れを示します。

### ①開催日の決定

平日午後2～4時くらいがシニアにとっては来店し易い。

### ②料金の決定

サイドサインでは1回500円/人（施設の使用料）。

### ③期間

月2回、第二、第三の月曜日、4、5、6月の3ヵ月に渡って開催した。

#### ④告知方法の決定

すみれ通信（地元広報誌）に掲載依頼を提出

※簡単な依頼文章を作成必要があります

=> すみれ通信関係者の稟議を経て掲載が決定（掲載までに2ヵ月）

#### ⑤告知の効果

掲載後、2週間くらいで10件の問い合わせあり。その後、口コミによる効果もあり最終的には14名が教室に参加しました。

その他に、SNSを使って告知を行っても良いと思います。

## ⑥主催者の決定

ビリヤード場はあくまでも施設を提供している立場としていた方が  
広報誌にて掲載されやすい面があります。  
これが店舗主催とすると営業目的と捉えられやすいので注意が必要です。  
ポイントは、教室に通う方をお願いをしてサークルの代表者になって  
もらうことです。代表者になっても特に作業をしてもらうことは無い  
のでハードルは低いです。

## ⑦今後の活動

ビリヤード サイドサインでは再掲載の可能な6カ月後である10月  
から教室を開催予定です。

# 7. 補足説明

- シニアビリヤード教室の講師について

シニアにどのような内容を教えるべきか？不安に思うかもしれませんがポイントは撞き方の説明となります。レストの組み方、右手の使い方、スタンスなど。基本的な考え方としては手玉を真っ直ぐに撞ける様にできればあとは、楽しんでもらう事が可能なのでハードルは決して高くありません。

- 講師の目的

シニアがビリヤードを楽しんでもらえる様にすること

ビリヤード場にシニアが来店しやすくすること

- KBAから一言

もし、講師のやり方についての不安や疑問点があればKBAにてレクチャーすることは可能です。

## 8. 今後の展望

- ミッション（1年以内での活動）

サイドサインでは年2回、シニアビリヤード教室を開催していききたい。

この教室を神奈川県下の少しでも多くの店舗でもやってもらって、シニアに取って有意義なビリヤードを勧めていききたい。

また、ビリヤード場の経営者は待ちの姿勢が多いと感じているので、これからは時代に即したツール（SNSなど）を使いを攻めの姿勢に転換していききたい。

- ビジョン（5年以内での活動）

複数店舗で、交流戦（社交界）を開催するなどして、シニアおよび店舗にとって横のつながりをつくりたい。